



風しん抗体検査・予防接種 を受けましょう

くわしくは 健康課 ☎21-2756



風しんの特徴

- 風しんは、感染者の飛沫^{ひまつ}などにより人から人へ広がり、その感染力はインフルエンザ以上に強いといわれています。
- 成人になってから風しんに感染すると、子どものときに感染した場合と比較し、症状が重くなることがあります。
- 妊娠初期の女性が感染すると、先天性風しん症候群(目や心臓・耳などに障がいが出る)のお子さんが生まれてくる可能性があります。

これまで公的な風しんの予防接種を受ける機会が無かった、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性は、風しんの抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています(約80%)。市は、対象となる方に平成31年4月～令和4年3月末の3年間に限り、風しん抗体検査および風しん予防接種にかかる費用を助成します。

★「クーポン券」を使用すれば、風しんの抗体検査・予防接種とも無料で受けられます

- 昭和47年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性には、クーポン券を送付しています。すでに他市町村からクーポン券の発行を受けている方が日光市に転入した場合は、新たに日光市からクーポン券の発行を受ける必要があります。希望される方は、健康課までご連絡ください。
- 昭和37年4月2日～昭和47年4月1日に生まれた男性については、今後国が示す指針に基づき、順次クーポン券を送付する予定ですが、早急に送付を希望される方は、健康課までご連絡ください。

まずは抗体検査を受診しましょう！

抗体検査は、次の3つのパターンで受けることができます。

日光市の集団健診で検査

- ①健康課に電話で予約してください。
- ②予約日の約2週間前に「集団健診のお知らせ」を送付します。予約日に、「クーポン券」と一緒に持参してください。

健康課 ☎21-2756

職場の健診で検査

- 職場の健診に、「クーポン券」と「本人確認書類(保険証など)」を持参し、検査を受けてください。
- ※「クーポン券」が使用できない場合もあります。詳しくは職場の健診担当者、または健診機関にお問い合わせください

医療機関で検査

- ①ご希望の医療機関に、電話で予約してください。
※医療機関一覧は、厚生労働省のホームページをご覧ください
※市外・県外の医療機関でも受診できます
- ②予約日に「クーポン券」と「本人確認書類(保険証など)」を持参し検査を受けてください。

抗体(抵抗力)がない場合は予防接種を！

抗体検査の結果、抗体が基準値以下である場合は、風しん予防接種を受けてください。

- ①ご希望の医療機関を選んでください。
※医療機関一覧は、厚生労働省のホームページをご覧ください
※市外・県外の医療機関でも受診できます
- ②医療機関に電話で予約してください。
- ③予約日に、「クーポン券」と「抗体検査の受診票(結果が記載されたもの)」、「本人確認書類(保険証など)」を持参の上、予防接種を受けてください。

厚生労働省のホームページは

 風しん 厚労省

で検索。または下のQRコードをご利用ください



※広報にっこう5月号2ページ「あなたの健康を守りましょう」の中で、BMIの計算式について誤りがありました。正しくは「BMI= 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))」です。おわびして訂正します

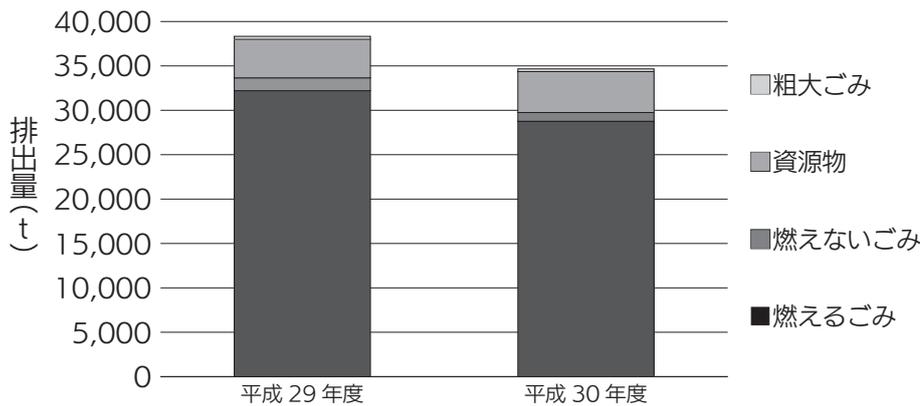
「環境にっこう」のページでは、日光市の環境に関するお知らせや情報を発信していきます。

くわしくは 環境課 ☎21-5138(ごみについて)
☎21-5152(外来種・PM2.5について)

ごみの排出量

単位：t

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減
燃えるごみ	32,212	28,763	▲ 3,449
燃えないごみ	1,443	991	▲ 452
資源物	4,335	4,610	275
粗大ごみ	346	307	▲ 39
ごみ総排出量	38,336	34,671	▲ 3,665



平成30年度のごみの排出量について

市民の皆さんのごみの減量・資源化の意識が高まったことにより、平成30年度のごみの総排出量は平成29年度のごみの総排出量と比較すると、約9.6%減少しています。
市では今後も、ごみの減量・資源化に取り組んでいきますので、引き続きご協力をお願いします。

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に注意しましょう！

クビアカツヤカミキリは、サクラやモモ、ウメなどの樹木を加害することで知られる外来種です。駆除する必要がありますので、見つけた場合は環境課までご連絡ください。

クビアカツヤカミキリの特徴…

体長…約2.5～4 cm

体色…つやつやした黒い体で、胸部(首のあたり)は赤い色

寄生植物…サクラ、ウメ、セイヨウスモモ、モモ、カキなどのバラ科の樹木

生態…樹皮の裂け目などに産卵した卵がかえり、幼虫が樹木に入って内部を食害します。6月中旬～8月上旬にかけて成虫となり樹木の外に出てきます。幼虫が排出するフラス(木くず)が目印になります。



胸部が赤色

※栃木県ホームページより

PM2.5にご注意ください

PM2.5とは…

PM2.5とは、自動車や工場の排ガスに含まれ、吸い込むとぜんそくや肺がん、呼吸器への影響に加え、循環器系への影響が懸念される小さな粒子です。

県は、PM2.5を24時間連続で測定し、専用ホームページ「とちぎの青空」(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d03/eco/kankyou/hozen/aozora.html>)でリアルタイムに公表しています。市内では、今市小学校で測定しています。

4月1日～9月30日は光化学スモッグ対策期間です

光化学スモッグは、気温が高く、風の弱い夏の日中に発生しやすい大気汚染の一種です。

主な症状は、目やのどの痛み、皮膚炎ですが、重症になると頭痛、発熱、呼吸困難となってしまう場合があります。

注意喚起や注意報などが発令されたら…

- ・不要不急の外出を控えましょう
- ・屋外での活動は避け、目やのどの刺激を感じたら、すぐに洗眼・うがいをして安静にしましょう
- ・症状が重い場合は、医師の診察を受けてください
- ・被害を受けた方は環境課までご連絡ください